

# トイレ無き マンション

## 「高レベル放射性廃棄物の最終処分場」が見つからない日本

- 1 原発「核ゴミ」(放射性廃棄物)捨て場所が無いまま、**原発推進は無責任!**
- 2 将来世代に、管理をゆだね(負担を・管理費用を押し付け)、  
現世代が「核ゴミ」を使うのは**ヒキョウ・不正義(今だけ 金だけ 自分だけ)!**

2019.7月鶴岡「①出羽三山の自然を守る会・②観る聴く語る市民講座主管団体」が、県知事に「高レベル放射性廃棄物の地層処分・要望」を提出、「受け入れず」との回答。その後③山形・幸せの脱原発ウォーキング ④さようなら原発米沢 ⑤さよなら原発酒田・鮑海の会 ⑥平和とくらしを守る南陽市民の会 ⑦戦争やんだ! チーム白鷹 が県内自治体を訪問・要請、全自治体から回答

**最終処分場を探すのは、原発への賛否を超え、**

**全ての人々が総力を挙げ解決すべき問題だが、前提2点が必須**

○ 「核ゴミ」をこれ以上増やさないため  
直ちに「**脱原発**」を決め、  
まず「**核ゴミ総量**」を確定!

○ 世界有数の地震多発国で地殻変動が  
激しく、地中300m以深に「核ゴミ」を  
10万年埋めたまま放射能の自然減衰  
を待つ「**地層処分**」は、**根本的問題が  
あり見直す**

\*申し入れ趣旨

- 1 「核ゴミ」の最終処分地選定に関し、  
国・県・電力会社・NUMO等から働きかけがあった場合、**直ちに公表を!**
- 2 「核ゴミ」の処分について、上記○の**前提条件が共に満たされない限り、  
受け入れはあり得ないと、明確に断りを!**

県知事及び県内市町村長申し入れ 回答結果

2のみ記載

・受け入れず 県知事・28首長

・「条件付き」受け入れず 7首長

\*受け入れを現時点では考えず

\*市民の安全安心が担保できない場合は受け入れず

\*今(福島)避難者を受け入れ、風評被害が未だ完全に払しょくされず



「**信じられる未来**」へ—— **市民連合**」からのメッセージ

2026.2.22

一部抜粋

私たち「市民連合」は、'15年に安保法制強行採決、立憲主義が根底から脅かされたのに対し、広範な市民が抗議する中誕生。約10年 政権はさらに歯止めなく憲法の平和主義と専守防衛を逸脱、戦争準備に突き進んできた。沖縄南西諸島をはじめ軍拡も加速し、総選挙でさらなる軍拡路線と改憲を掲げる自民＝維新(高市)政権が地滑りの勝利で、平和憲法の戦後最大の危機。

私たち「主権者」は、政治の〈生産者〉に。あらゆる組織と対話し、本当に信じるに足る未来を地域から構想したい。この国の平和を希求する市民が本当に求めるものを草の根から共に見だし、政治に反映させたい。不安と不信の世界から「政治」を取り戻すため、市民自身の手による「信じられる未来」の構想が必要。安保法制から安保関連3文書、スパイ防止法や緊急事態法の設置をはじめとする憲法改「正」、核保有の議論まで、政府は国会の絶対的数の力で、再び戦争国家への道を突き進む?

しかし市民は、平和の砦を再び路上から築き上げることができる。けっして忘れてはならない。歴史の作り手は、いつも私たち民衆。

私たち市民連合は、自らを新たに「**信じられる未来**」へ——**市民連合**」と名づけ、

みなさんと一緒に未来を構想し、新しい市民政治の可能性を探求したい。

全文は市民連合HPを参照

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合やまがた

略称「**市民連合やまがた**」はメールで情報を発信

[kitahei2962@gmail.com](mailto:kitahei2962@gmail.com)へ登録を!

FB 市民連合やまがた

X @ShiminrengoYama